



ロケーションサービスで地域経済活性化!

発足9年目になる「綾瀬ロケーションサービス」は、地域住民組織「あやせ市ブタコリ〜ロケ隊 (通称:ブタロケ隊)」と市がタッグを組んだ組織です。地域のネットワークを駆使して、映画などの制作会社の要望に合わせたロケ候補地を紹介しています。9月現在、2000件を超える問い合わせ、150作品以上の撮影実績があり、「ロケ地」という市の魅力が増え続けています。

この「ロケ地」を訪れることで市のファンになってもらう「ロケツーリズム」を、市ならではの観光として推進しています。

☎ 商業観光課 ☎ 70・5685



PICK UP 市内ロケ弁当

撮影時には市内のロケ弁を提供し、1回で80食以上の注文が入ることもあります。綾瀬のおいしさがギュッとつまんだロケ弁は撮影隊にも好評です。



協和



お弁当工房たかしえん



atelier 蘭



みっちゃん弁当



マナカフェ



モンレーブ

ロケ候補地・エキストラ・ロケ弁提供事業者の募集

それぞれ随時募集しています。詳しくは市HPの各リンクよりご覧ください。



綾瀬ロケーションサービスの流れ



- ◎ロケ候補地登録数は170カ所
(公共施設や飲食店、畑、一軒家などあらゆる場所を紹介)
- ◎エキストラ登録者数388人
(老若男女、厚木基地の米軍の方まで出演実績あり)



ロケツーリズムとは

ロケツーリズムとは、ロケ地を訪れて風景と食を堪能し“おもてなし”に触れることで、その地域のファンになることを目的とした観光スタイルです。

ファンによる経済効果は大きく、観光で市内店舗などを利用してもらうことで、市の活性化につながっています。

市では、観光を楽しんでもらえるように、シーン写真や撮影時エピソードなどを掲載した「ロケ地看板」を設置し、さらなるファン獲得を目指しています。



市が舞台となった短編映画「たまには、大きな声で」のロケ地。ロケ地巡りに訪れた作品ファンが食事を楽しんでいる姿が見られます。

市のロケーションサービス・ロケツーリズムによる経済効果 (H26~R3)

直接経済効果

約**3600万円**

- ・撮影使用料、ロケ弁当など食事提供、美術協力など
- ・ロケ地ツアー、ご当地グルメ販売 など

広告換算効果

約**106億7000万円**

- ・メディアなどの露出を広告宣伝費に換算

ロケツーリズムの取り組み

公開に合わせたタイアップ企画を展開



映画「さかなのこ」では、パネル展の開催やスタッフ用オリジナルTシャツの製作、広報誌への掲載、市内にポスター掲示などを行いました。パネル展には、長崎県から訪れた人もいました。

公開後のロケ地を活用した取り組み



ロケ地看板・MAPの作成、ロケ弁当を味わいながら市内を巡るロケ地ツアーやシンポジウムの開催などによりPRしています。

